

経営者の生き様や氣迫を学び 経営者を志すことができました

「現場から学べ」との
教えでヒット商品を開発

社会保険労務士法人と、給与コンサルティング会社を経営している北見昌朗さん。地元の新聞社で経済記者としてキャリアをスタートした。「給料に不満があった。もっと経営者と従業員が一体化し、みんなで業績を上げて分かち合う経営が必要と実感した」と述懐する。一方、バブル経済で採用難が続いていた当時、記者として経営者に取材すると、給料をいくらにすればいいかわからず困っている経営者が多いことも知った。そんな26歳の頃、同じビルに居住していた菊水化学工業社長の遠山昌夫さんを取材した。

「面倒見がいい方で、よくかわいがってもらいました。戦時中、一度は死を覚悟した人。オーナー経営者の、逃げない、ぶれないという迫力のある生き様に圧倒されたのです。『こうなりたい、という思いの強さで人生は決まる』という言葉に、自分もそんな生き方をしたいと思うようになりました」しかし、何をすればいいかが見つからない。そんな30歳の時、公認会計士の大平吉朗さんに出会い、かわいがられるように。「ある日、居酒屋で『強いニーズがあるのだが、給与のコンサルティングができる人がいない』と聞き、これだと思った」と北見さん。入社後から抱いていた給与制度への問題意識もベースにあった。

そして、社会保険労務士資格を取得し独立。遠山さんの「現場から学べ」との教えを守り、中小企業の給与実態調査を敢行する。当時、役所が発表する「モデル賃金」しかなかったからだ。こうしてできた「ズバリ！実在賃金」という画期的な調査データがヒットする。

「今や従業員は30名で、名古屋最大の社労士法人となりました。かつ実在賃金データによる実践的な給与コンサルティングが可能なのは当社ぐらい。遠山先生と大平先生のおかげです」と北見さんは強調する。

私の“守破離”年表

守 経営者の生き方に惹かれる

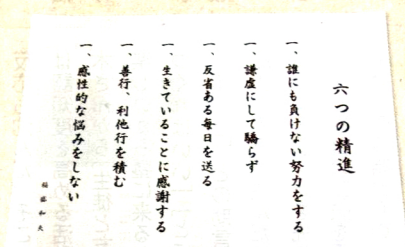
26歳の時に遠山昌夫さんと出会い「こうなりたい、という思いの強さで人生は決まる」「ただ食べて生きるだけの豚になるな」という激しい生き方に触れ、自らも経営者を志す。

破 経営テーマを見つける

30歳で大平吉朗さんに出会い、探していた事業テーマを見つける。遠山さんから学んだ経営哲学を実践する方法論として、「給与コンサルティング」の確立を目指す。

離 独自サービスがヒット

画期的な給与実態調査に基づくデータサービス「ズバリ！実在賃金」をリリースしヒット。会社を軌道に乗せた後、2008年に京セラ創業者・稲盛和夫さんの「盛和会」に参加。



稲盛さんからは納税と雇用による社会貢献の意義を学ぶ。この実践は銀行からの信頼につながり、2億円の借り入れによる事務所建築に結実



弟子 北見昌朗さん(57歳・右)
(株)北見式賃金研究所・社会保険労務士
法人北見事務所／名古屋西区

師匠 遠山昌夫さん
菊水化学工業(株)最高顧問

1930(昭和5)年生まれ。終戦後、裸一貫で塗装業を始める。その後、自ら塗料の発明改良を志し、59年に建築塗料メーカーの菊水化学工業を設立。一代で社員数370名強、年商200億円以上の東証2部上場企業に育て上げる。

